

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	外国語	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	全コース共通		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	Three-line Writing in English 日常英語ライティング入門/ 必要に応じて資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	門脇 仁			実務経験の有無・職種	有・講師		
学習目的							
基本的な英文法の再確認から英語での意思伝達に至るまでをディクテーション・ライティングそして発表するという学習によって習得する。また情報処理に関するものばかりでなく様々なビジネスに使われる文章をを学習することで英語に対する苦手意識を払拭し、英語というツールを活用して海外への視野が広がることをねらいとする。							
到達目標							
以下の4点を習得することを目指す。 1. 短い会話の内容や意味を大まかに理解し聞き取ることができる。 2. 基本的な英文法が理解できライティングの際使いこなせるようになる。 3. 語彙を増やし発表の際うまく取り入れることができる。 4. ナチュラルスピードで自分のライティングを発表することができる。							
教育方法等							
授業概要	ライティングに必要な英文をディクテーションする。授業の最後に発表するための準備としてナレーターと同じ速度とリズムで音読できるようにする。。文法解説をした後、容易にライティングに取り組めるよう文法の演習問題をする。 日常英語をライティングし発表する。また、情報処理に関した資料を使ったリーディングも行う。						
注意点	積極的に授業に参加してもらうため復習は必ず行うこと。授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験や課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	10%	ライティングの発表で評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回)							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	進行形			進行形を使った文章のリスニングができる 進行形の文法を理解できる			
2回	進行形を使ったライティング			進行形を使った日常英語ライティングができる 発表することができる			
3回	未来形			未来形を使った文章のリスニングができる 未来形の文法を理解できる			
4回	未来形を使ったライティング			未来形を使った日常英語ライティングができる 発表することができる			
5回	助動詞(1)			助動詞を使った文章のリスニングができる 助動詞の文法を理解できる			
6回	助動詞を使ったライティング			助動詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる			
7回	助動詞(2)			助動詞を使った文章のリスニングができる 助動詞の文法を理解できる			
8回	助動詞を使ったライティング			助動詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる			
9回	受動態			受動態を使った文章のリスニングができる 受動態の文法を理解できる			
10回	受動態を使ったライティング			受動態をを使った日常英語ライティングができる 発表するすることができる			
11回	比較			比較を使った文章のリスニングができる 比較の文法を理解できる			
12回	比較を使ったライティング			比較を使った日常英語ライティングができる 発表するすることができる			
13回	不定詞			不定詞を使った文章のリスニングができる 不定詞の文法を理解できる			
14回	不定詞を使ったライティング			不定詞を使った日常英語ライティングができる 発表するすることができる			
15回	フリーライティング			パラグラフライティングができる 発表することができる			